

# 興奮伝導のシミュレータ



1. デバイスにより画面サイズが異なるため、適切なサイズのグラフとなるように、グラフサイズの設定を行う。

①時間軸のサイズ入力 (全てのグラフの横のサイズ)

②電位軸のサイズ入力 (それぞれのグラフの縦のサイズ)

2. 温度を設定する (③)。

3. 最大シミュレーション時間を選択する (④)。

4. 軸索 (0~10cmで0cmに刺激が与えられる) (⑧) 上の記録電極の位置を入力する (⑤)。電極の位置は、軸索上の▼、位置-電位グラフの青線で表示される。

5. グリッドを表示するか場合にはチェックを入れ、表示させない場合にはチェックを外す (⑥)。

6. 刺激の強さと持続時間を入力する (⑦)。

7. シミュレーション実行ボタンをクリックする (⑨)。

8. 計算終了後、最大シミュレーション時間の軸索にそった電位分布 (⑩) と、記録電極での膜電位 (⑪) が表示される。

9. Play (アニメーション実行ボタン) (⑫) をクリックすると、計算値に従って、一定時間ごとの膜電位と興奮部の位置が表示される。Playボタンをクリックする毎に繰り返し表示される。

10. グラフに重ね描きをしない場合にはクリアボタン (⑭) をクリックしてグラフを消去する。